

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年12月5日

【四半期会計期間】 第135期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 武田薬品工業株式会社

【英訳名】 Takeda Pharmaceutical Company Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 長谷川 閑史

【本店の所在の場所】 大阪府大阪市中央区道修町四丁目1番1号

【電話番号】 大阪(6204)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 高原 宏

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目12番10号
(武田薬品工業株式会社東京本社)

【電話番号】 東京(3278)2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部 主席部員 森本 建次郎

【縦覧に供する場所】 武田薬品工業株式会社東京本社
(東京都中央区日本橋二丁目12番10号)

武田薬品工業株式会社横浜支店
(横浜市西区北幸二丁目8番4号)

武田薬品工業株式会社名古屋支店
(名古屋市西区牛島町6番1号)

武田薬品工業株式会社神戸支店
(神戸市中央区磯辺通三丁目1番7号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

証券会員制法人札幌証券取引所
(札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出いたしました第135期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(6) 従業員数

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(6) 従業員数

(訂正前)

(連結会社の状況)

当第2四半期連結累計期間末における従業員数は、前連結会計年度末より11,596名増加し、30,094名となっております。その主な要因は、医療用医薬品事業セグメントにおいてNycomed A/Sを買収したことに伴い、Nycomed A/Sおよびその子会社92社を連結の範囲に含めたことによるものであります。

なお、従業員数は臨時従業員を除く正社員の就業人員数であります。

(訂正後)

(連結会社の状況)

当第2四半期連結累計期間末における従業員数は、前連結会計年度末より12,306名増加し、30,804名となっております。その主な要因は、医療用医薬品事業セグメントにおいてNycomed A/Sを買収したことに伴い、Nycomed A/Sおよびその子会社92社を連結の範囲に含めたことによるものであります。

なお、従業員数は臨時従業員を除く正社員の就業人員数であります。